

<AI活用> 候補文表示と最適文書の索出

1. AIが過去の文書データを検索して、一番近い次の候補文を表示

① 明細書作成にあたり、まずは該当の技術分野の文書データ(DB)が格納されているフォルダーを選びます。
(注) 文書DBの構築が未だの場合、マニュアル「過去の文書図面データを検索して作成」1項と、2項を参照し、データベースを

② 実施形態等、作成中の文章(下記グレー)をAIが認識し、次の候補文をDBより3件索出します。

(注) 同義語を予め登録しておくことで最適な候補文が索出されます。

③ 候補文から最適な文章を選び、「Alt+F2」を押して入力画面に貼り付けます。
※ 所定のショートカットキーを変更したい場合、他のマニュアル「ショートカットキーの登録」を参照して下さい。
※ カーソルを動かしたい場合、上下左右の矢印を使います。

(注) 最適な候補文が無い場合、「次候補」ボタンを押します。それでも無い場合は、DBファイルを変更します。

(注) 入力画面に貼り付けした後、更に候補文を索出したい場合、「Alt+F12」で検索します。

2. 新請求項の語句を元に、過去の文書データの中から一番近い文書を索出

① 最適な文章を索出するため、検索したい文書DBファイルを選択します。
→ 「請求項1」… 作成中の請求項1を元に最適文を索出します。
→ 「範囲指定」… 範囲指定した文章を元に最適文を索出します。

② 請求項1を元にする場合、候補文を表示してご自身で貼付けするか、実施形態を自動作成するか選択します。
→ 「語句検索・候補文表示」… 請求項1からキーワードを抽出し、選択したキーワードを元に候補文を表示します。
→ 「実施形態の自動作成」… 請求項1を元に文書DBを策出しながら実施形態を自動作成します。(次ページ⑦へ移動)

③ キーワードを選択して、例文検索をします。

④ 「Tab」キーでカーソルを動かすか、マウスでクリックして項目を選びます。

⑤ 表示された文書画面から利用できそうな文章をドラッグし、その文書画面左上の「Copy」ボタンをクリックして貼付先の項目を選び、Word入力画面に貼り付けます。

(注) 関連図面も参照できます。参照した図を「Windows」アクセサリの「ペイント」を用いて編集もできます。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

- ⑥ 貼付された過去文章を参照しながら、新請求項の語句説明を「検索」ボタンで索出し、最適文を入力画面に貼付して編集していきます。

請求項語句キーワード一覧

選択	新請求項・構成語句	検索	削除
☐	フリック入力	検索	削除
☒	電子機器	検索	削除
☐	タッチパネル	検索	削除
☐	着脱自在	検索	削除
☐	タッチパネル用入力補助装置	検索	削除
☐	複数の入力キー	検索	削除
☐	複数の弾性復元力	検索	削除
☐	キートップ	検索	削除
☐	キートップシート	検索	削除
☐	入力キー	検索	削除
☐	導電体	検索	削除
☐	フリック入力操作	検索	削除
☐	合成樹脂製シート	検索	削除
☐	スピンドル	検索	削除
☐	蛇腹状	検索	削除

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下、本発明の実施形態について、図面を参照して説明する。なお、以下のタッチパネル用入力補助装置が装着される電子機器の容量方式のものを例示している。

●電子機器は、

電子機器12は、主面である表面16aと、該表面16aに対向する裏面16bと、表面16aに隣接する4つの側面18a~18dとを有する。

電子機器1は、スマートフォン、タブレット端末、ノート型PC、ポータブルオーディオプレイヤー、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどであり、LCD (Liquid Crystal

検索候補文の詳細

ダブルクリック または Enter で挿入

まず、第1の本実施の形態に係るタッチパネル10は、図1に示すように、電子機器12と筐体14との間に設置される。

電子機器12は、主面である表面16aと、該表面16aに隣接する4つの側面18a~18dとを有する。

電子機器12は、少なくとも画像やテキスト等を表示する表示パネル20の表示面が電子機器の主面となる。

表示パネル20としては、例えば液晶ディスプレイ (Electro-Luminescence) 等が挙げられる。

電子機器12は、表示パネル20の裏面側に、タッチパネル10の制御、データ通信の制御を行う制御部22を有する。

⑦「実施形態の自動作成」

… 請求項1を元に文書DBを索出しながら実施形態を自動作成します。

以下、本発明の実施形態について、図面を参照して説明する。なお、以下の実施形態に用いられるタッチパネル用入力補助装置が装着される電子機器100のタッチパネル10を例示している。

- ⑨ 本ソフトが過去の文書DBを索出しながら、自動作成できるところまで作成します。

図1は、本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1の分解斜視図である。図2は、図1のA-A断面における拡大断面図であって、(a)は、スピンドル3に負荷がかかっていない状態を示し、(b)は、スピンドル3を指で押し下げた状態を示し、(c)は、スピンドル3を指でフリックしている状態を示す。図5は、タッチパネルに本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1が設置された携帯電話の平面図であって、タッチパネル用入力補助装置1のスピンドル3を操作する前の状態を示す。図6は、タッチパネル用入力補助装置1が設置された携帯電話のスピンドル3を指で押し下げた状態を示す。図7は、タッチパネル用入力補助装置1のスピンドル3の拡大断面図である。

本発明に係るタッチパネル用入力補助装置1は、キートップシート2と、スピンドル3と、下部カバーシート4と、上部カバーシート5とを備える。

●フリック入力に対応した電子機器のタッチパネルに装着されるタッチパネル用入力補助装置であって、

タッチパネルに表示される複数の入力キーに個別に対応する複数の弾性復元力を有するキートップが設けられたキートップシートを備え、

■は、新請求項から「前記」を削除して貼り付けた文です。

- ⑧ キーワードを選択して、例文検索をします。

自動作成→キーワード...

下記キーワードより検索に必須となる語句をお選び下さい。

選択	抽出キーワード
☐	フリック入力
☐	電子機器
☒	タッチパネル
☐	着脱自在
☐	タッチパネル用入力補助装置
☐	複数の入力キー
☐	複数の弾性復元力
☒	キートップ
☐	キートップシート
☐	入力キー
☐	導電体
☐	フリック入力操作

全選択 全解除 AND

例文検索 キーワード再抽出

- ⑩ 自動貼り付け終了後は、説明が必要な新請求項の構成語句を選択して「説明文挿入」ボタンを押すと、その語句ごとに説明文を索出して貼り付けします。 ※選択した順に説明文が挿入されます。

請求項語句キーワード一覧 (自動挿入)

構成語句を説明順に選択し、「説明文挿入」を押してください。

順	選択	新請求項・構成語句
4	☒	フリック入力
1	☒	電子機器
1	☒	タッチパネル
1	☐	着脱自在
2	☒	タッチパネル用入力補助装置
2	☐	複数の入力キー
2	☐	複数の弾性復元力
3	☒	キートップ
3	☐	キートップシート
3	☐	入力キー
3	☐	導電体
3	☐	フリック入力操作
3	☐	合成樹脂製シート
5	☒	スピンドル
5	☐	蛇腹状
5	☐	導電性
5	☐	オペレータ
5	☐	開口部
5	☐	下部カバーシート

全選択 全解除 検索 説明文挿入

挿入された説明文が不適切な場合、「検索」を押し個別に索出してください。

●キートップシートは合成樹脂製シートであって、キートップのスピンドルは蛇腹状に形成されたものであることを特徴とする。

●導電体として導電性を有するスピンドルが、キートップシートに装着されていることを特徴とする。

●スピンドルは、透明な樹脂製であることを特徴とする。

●キートップシートは、入力キーに接触するのを許容する弾性を有することを特徴とする。

●キートップシートは、下部カバーシートには、開口部が設けられ、これら開口部は、それぞれ、導電性を有することを特徴とする。

●タッチパネルは、

本発明の光学式タッチパネル10は図1 (断面図) に示すように座標入力領域11と、発光素子12および受光素子13と、発光素子12に結合した発光側光導波路14と、受光素子13に結合した受光側光導波路15とを有する。発光側光導波路14の出射端部1